

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！

J R
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
NTT 054-284-3608
FAX 054-283-6365
発行責任者 山本繁明
2011年 5月27日 No.23

「海水注入問題」でどたばたしている場合じゃない 福島第1原発で起った**重大事態**！ 3号機「地震 で冷却配管破損」 1号機「地震直後容器破損」

福島第1原発事故では、津波による全電源喪失により原子炉の冷却機能を失った、として全国の原発施設はこれまで一時的な設備増設や発電機移設などの津波対策をもって原発の運転を続けています。また、1～5号機を全停止させた浜岡原発も中長期的な津波対策を行って運転再開するとしています。

しかし最近になって、3月11日の地震の揺れで、福島第1原発の3号機でECCS（緊急炉心冷却システム）が、また1号機で原子炉圧力容器かその配管が破損していた可能性があることがわかり、東京電力が「否定できない」と言い出しました。これは、極めて重大な事態です。なぜなら、津波ではなく地震の揺れでトラブルが発生し、緊急時の冷却装置や原子炉本体が壊れたのですから、同様の地震（それ以下でも）で全国の原発も危機的事態に陥る恐れがあります。耐震設計の見直しと実施が緊急に必要なのに全国で運転中の原発が、恐ろしいことにほったらかしのままです。JR東海葛西会長は5月24日の産経新聞紙上で「教訓を活かして原発継続するしか日本の活路はない」と真っ向から原発推進を主張しましたが、情報を小出しにして事故対応を遅らせたり、責任をなすりつけあったり、危険を承知で何も対策しなかったりと、**福島第1原発事故処置をめぐる**
は、活かすべき教訓も見当たらないといわざるをえません！！

※5月14日福島第1原発で亡くなられた作業員の方のご冥福をお祈りします※